

## 令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 7年 4月 30日

団体所在地 広島市佐伯区五日市五丁目 6-25  
団体の名称 株式会社 桜の杜  
職・氏名 代表取締役 東 真弓美  
(施設名 さくらの杜 SKY 保育園)

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春見つけをする。草花(シロツメクサやヨモギなど)で花冠を作ったり、色々な遊びで楽しむ。
- ・春の生き物を見つけ、生体を観察する。
- ・山でタケノコを掘ったり、ヨモギを採ってヨモギパンを焼いたりして春を食した。

#### 【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・三篠川で川遊びをした。
- ・川の中の生体を知る。(カニ、アユ、川魚、川辺のいきもの)
- ・川には流れや深みなど、危険がある事を知らせる。
- ・七夕まつりを里山で開催する。
- ・里山で夏の木々の色の移り変わりを感じる。

#### 【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・秋の里山で木の実(ドングリ・松ぼっくり他)を拾い色々なものを製作する。想像力ゆたかになり、自然の恵みに感謝する心を育む。
- ・山でツリーハウスのようなものを作る。
- ・落ち葉を拾ってお面を作ったり、色とりどりの葉でケーキをつくったりして遊ぶ。
- ・

#### 【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・かまどを作り焚火をする。
- ・火を起す時には松ぼっくりや小枝が適している事、その火を長く持たせるには徐々に太い木を使用することを学ぶ。
- ・焚火に大鍋で米を炊きおにぎりにして食べる。
- ・雪での活動(雪だるま、雪合戦、そり滑り)

## 活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

### 【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

春見つけをしました。たくさんの草花を摘みました。ヨモギジュースは田んぼのほとりの用水路の山水をくんで枝でぐるぐるして色水遊び。色々な花を摘みお店屋さんごっこも始まります。「いらっしやいませ〜。」あちこちから呼び込みが始まります。時には里山に向かって「やっほー！」やまびこを楽しんでいます。シロツメクサで花冠や指輪を作って売るかと思いきや、自分を着飾って「見てみて。」と楽しそうに見せてくれます。シロツメクサの花束を作って「お母さんにあげるんよ。お母さん喜ぶかね。」「そうだね。きっと笑顔で喜んでくれてよ。」野いちごを見つけ、「お母さんに持って帰る。」と袋に入れてにこにこ笑顔。たくさんたくさん春見つけしてたくさんたくさん遊びました。

### 【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

・サマーキャンプで川あそびをしました。  
「メダカがいるよ!」「いっぱい泳いでるんだね。」「メダカの学校だね。」「石の下には他にも生き物がいるんよ。」「なんかね。ピタッピタッって止まって動くのがあるんよ。」図鑑で調べる子どもたち。  
「よしのぼりっていうんじゃ。」「捕まえられんのよね。」図鑑を岸に投げだし、また魚を捕まえに川に入る子どもたち。ライフジャケットを着用している時には、上を向いてぷかぷか。みんな上手に浮いています。たまに、顔を下に向けて泳ごうとしてる子どもがいて、ライフジャケットを着用している時は顔は上にしないと顔が上げづらいことをつたえました。川の怖さを知り、また楽しく遊ぶことを知った子どもたちでした。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

里山に自分たちの家を作ろうと張り切る子どもたち。まずは、木と木の間に動物たちがおじゃましないようにと、壁を作りました。太い枝を間に架けて次は細い枝で壁面作り。考えながら、何度も作りかえようやく壁面の出来上がり。次は、トイレを作ります。ちょうどいいくぼみがあったから。その隣にはテレビの部屋。大きい岩があつてそこにテレビを置くからだそう。玄関が最後。「ここから入ってきて。」はい。わかりました。床には枝を敷き詰めて子どもたちは空想の世界で遊んでいます。いつの間にかキッチンも出来上がり、栗を拾ってきては栗ご飯をごちそうしてくれます。「この家どんどんおつきくなるからね。」とすてきな家が出来たね。またおじゃまします。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

・休耕田の原っぱにかまどを作りました。自分たちでご飯を炊こうと決めて、はりきる子どもたち。石で周りを囲み、危険な場所としてわかるようにしようとした。大きい石や小さい石を山から見つけてきて運びました。そして、松ぼっくりや枯れ葉を山から見つけてきて山盛りにしています。「なんで松ぼっくり？」と質問する子どもや考える子どもたち。見守っていると、自分たちで松ぼっくりが下小枝が上。さらに、太い木が上になっています。さあ、火をつけましょう。一度目は火が途中で消えてしまいました。さて、どうするかな。今度は消える前に杉の枯れ枝で、あおいでいます。しっかりと火がついてみんな自然と笑顔になりました。最後は遅めの昼ご飯でお腹が満腹になった子どもたちでした。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

里山整備のため、チェーンソーの使い方の講習  
山野草の説明と山野草を使っての遊び方講習  
川遊びの危険を知る研修

- ・ 地域との関わりについて

専門知識のある地域の方と一緒に里山歩き（毎月）  
地域の方と協働してサツマイモの苗を植え育て収穫をして、すくもで焼き芋にして一緒に食べる  
冬には焚火で一緒に餅を焼いたりして食べる。  
正月前にはしめ縄飾りを地域のお年寄りの方に、教えてもらう。

- ・ 保護者との関わりについて

野菜と一緒に収穫する。それを調理して食べる。  
里山歩きに同行してもらう。

- ・ その他

安佐北区白木町の里山での自然体験は子どもにとってかけがえのない時間になっています。  
地域の活性化にもつながっています。おばあちゃん、おじいちゃん笑顔があちらこちらから見守ってくれています。保護者の方にも、子どもがひとまわり成長したような気がすると言ってくれています。

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	<a href="https://sakuranomori-smile.com/">https://sakuranomori-smile.com/</a>
-------	-------------------------------------------------------------------------------